

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査について

(1)調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2)調査内容

- 教科に関する調査（国語、算数、理科）
 - ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し評価・改善する力等
- 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
 - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2 学校全体としての結果の概要

(1)教科に関する調査

- 国語
 - ・「話すこと・聞くこと」において、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができています。
 - ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができています。
 - ・「書くこと」において、図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり、目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができています。一方で、目的に応じて、文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題が見られました。文章の中から必要な情報を取捨選択する力をつけるため、「目的を明確にして読む」習慣を積ませる指導を行っていきます。

○ 算数

- ・「数と計算」において、目盛りが示す分数を正しく表すことに課題が見られました。数直線の目盛りが表す数を読み取る練習を積む経験を積ませます。
- ・「図形」において、角をつくる二つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさについて分かることを適切に選ぶことができています。しかし、五角形の面積を求めるために五角形を二つの三角形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて自分の考えを記述することに課題が見られました。順序立てた説明の仕方について指導し、他の単元でも自分の考えを筋道立てて説明する機会を設けます。
- ・「データの活用」において、簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができています。しかし、目的に応じて適切なグラフを選択して数量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られました。日常の事象について、グラフから必要なデータを収集し、答えの根拠となる数に着目しながら自分の考えを説明させる指導を行っていきます。
- ・「変化と関係」において、10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶことに課題が見られました。普段の生活と関連付けて、「10%増量」「30%引」などの百分率が用いられている場面において、倍を使って捉え直す活動を取り入れます。

○ 理科

- ・「エネルギーを柱とする領域」において、乾電池の直列つなぎに関する知識がよく身に付いています。
- ・「地球を柱とする領域」において、赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いを比べる実験の方法についてよく考えることができています。
- ・「生命を柱とする領域」において、ヘチマの花のつくりや受粉についての知識がよく身に付いています。
- ・「粒子を柱とする領域」において、水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかどうか検討し、表現することに課題が見られました。問題に対するまとめを導き出す際には、解決の方法が適切であったかどうかを検討する習慣を付けさせるよう意識付けを図ります。

(2) 生活習慣等に関する質問調査

- ・「自分には、よいところがある」「人が困っているときは進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」「学校に行くのは楽しい」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」等の項目に高まりが見られます。
- ・本校の児童は、家庭での学習時間や読書をする時間に課題があることが分かりました。今後も、生活習慣の見直しを行い、計画的な家庭学習の習慣化について指導していきます。